

## Ⅱ 国語科学習評価シートについて

### 1. 国語科学習評価シートの考え方

学校現場における評価の考え方は、例えば、指導開始前に行う診断的評価と、指導経過について児童生徒や教師へのフィードバックとなる形成的評価、さらに単元終了後や学期、学年末の習得の程度を確認する総括的評価がある。

本研究が作成した国語科学習評価シートは、自閉症・情緒障害特別支援学級に在籍する自閉症のある児童生徒に対して、新学年の国語科指導内容等を編成するために、前年度に実施した国語科学習の習得状況について、評価規準に照らして把握することを目的としている。

指導内容の習得状況を厳密に評価し把握するのなら、自閉症・情緒障害特別支援学級で独自に国語科の評価基準を作成し、その具体的な評価基準に従って児童生徒の達成状況を把握することは重要であると考えられる。しかし、評価基準のレベルでは、多様な状態像を示す自閉症のある児童生徒に対応したアセスメントツールの作成は難しいと考えられた。

そこで、本研究が提案している国語科学習評価シートは、自閉症・情緒障害特別支援学級の担当教員が、在籍する自閉症のある児童生徒に対して、国語科の指導内容に関する習得状況のおおよそを把握することを意図して作成しているものであり、学年末の総括的な評価として捉え、かつ次年度への指導内容等の編成に生かすためのツールと考えている。

### 2. 国語科学習評価シートの全体像

以下は、国立教育政策研究所(2002)が提案した小学校1～2年、3～4年、5～6年、中学校1年、2～3年の、「話すこと・聞くこと」に関する内容のまとめ、「読むこと」に関する内容のまとめ、「書くこと」に関する内容のまとめの、関心・意欲・態度、能力、言語についての知識・理解・技能と観点別評価として整理した評価規準一覧である(次ページの(1)～(3)の内容)。

本研究では、この評価規準の文章を、ある一覧を一定のルールのもとに細分化し、自閉症のある児童生徒が、どの内容のまとめで習得がなされているのか、あるいは十分に習得されていないのかを把握し、国語科指導における指導内容等の編成や、実際の指導に生かすことを目的としている。

尚、小学校1～2年生の国語科学習評価シートの全体像を、図1に掲載しておく。図1は、小学校1～2年生の国立教育政策研究所作成の評価規準と、それを細分化した評価規準の全体像である。

(1) 「話すこと・聞くこと」に関する内容のまとめ

	小学校 第1学年及び第2学年	小学校 第3学年及び第4学年	小学校 第5学年及び第6学年	中学校 第1学年	中学校 第2学年及び第3学年
国語への関心・意欲・態度	相手に応じ、経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話したり、大事な事を落とさないように聞いたりするとともに、話題からそれないように話し合おうとしている。	相手や目的に応じ、調べた事などについて、筋道を立てて話そうとしたり、話の中心に気を付けて聞こうとしたり、進んで話し合おうとしている。	話の組立てを工夫して話そうとしたり、話し手の意図を考えながら聞き取ろうとするとともに計画的に話し合おうとしている。	身近な生活における話題について関心をもち、自分の考えを進んで話そうとしたり相手の話を的確に聞き取ろうとしたりするとともに、話し言葉を大切にしようとしている。	広い範囲から話題を求め、表現を工夫して話そうとしたり相手の立場や考えを尊重して的確に聞き取ろうとしたりするとともに、話し言葉を豊かにし言語生活を向上させようとしている。
話す・聞く能力	知らせたい事を選び、事柄の順序を考えながら、相手に分かるように話している。	伝えたい事を選び、自分の考えが分かるように筋道を立てて、相手や目的に応じた適切な言葉遣いで話している。	考えた事や自分の意図が分かるように話の組立てを工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話している。	物事に対する自分の考えや気持ちを分かりやすく話している。	広い範囲から話題をとらえて話している。
	大事な事を落とさないようにしながら、興味をもって聞いている。	話の中心に気を付けて聞き、自分の感想をまとめている。	話し手の意図を考えながら話の内容を聞いている。	話し手の意図を考えて話の内容を聞き取っている。	話し手のもの見方や考え方をとらえて、自分のもの見方や考え方を広めたり深めたりしている。
	身近な事柄について、話題に沿って、話し合っている。	互いの考えの相違点や共通点を考えながら、進んで話し合っている。	自分の立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合っている。	自分の考えや気持ちを伝えるのにふさわしい話題を選び出し、取り上げている。	話の中心の部分と付加的な部分との関係に注意して、話したり聞き取ったりしている。
				全体と部分との関係、事実と意見との関係に注意して、話したり聞いたりしている。 話し合っている話題や方向をとらえて、的確に話したり聞いたりしている。 相手の考えと比較して、自分の考えをまとめている。	事実と意見との関係に注意し、論理的な構成や展開を考えて、話したり聞き取ったりしている。 話の内容に応じ、適切な語句を選択して、話したり聞き取ったりしている。 話の意図に応じ、文の効果的な使い方など説得力のある表現の仕方に注意して、話したり聞き取ったりしている。
言語についての知識・理解・技能	姿勢、口形などに注意して、はっきりした発音で話している。	その場の状況や目的に応じた適切な音量や速さで話している。	語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもちている。	話す速度や音量、言葉の調子や間のとり方などに注意して話したり聞いたりしている。	音声の働きや仕組みに関心をもち、話したり聞いたりして理解を深めている。
	丁寧な言葉と普通の言葉の違いに気を付けて話している。	話したり聞いたりするために必要な語句を増している。	文や文章のいろいろな構成があることについて理解し、活用している。	語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話したり聞いたりするとともに、事象や行為などを表す多様な語句について理解している。	慣用句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句の意味や用法に注意して話したり聞いたりしている。
	文の中における主語と述語との関係に注意して話したり聞いたりしている。	修飾と被修飾との関係など、文の構成に気を付けて話を聞いている。	日常よく使われる敬語の使い方に慣れている。	話の中の段落の役割や段落内の各文の接続関係などを考えて話したり聞いたりしている。	抽象的な概念などを表す多様な語句についての理解を深め、語感を磨き言葉を豊かにしている。
		文と文との意味のつながりを考えながら、指示語や接続語を使って話したり、それらに注意して聞いたりしている。  相手やその場の状況に応じて丁寧な言葉で話している。	共通語と方言との違いを理解し、また、必要に応じて共通語で話している。	単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをする語句などに注意して話したり聞いたりしている。  書き言葉とは違う話し言葉の特色や役割を理解し、適切に話したり聞いたりしている。	相手や目的に応じて話の形態や展開の違いがあることに気付いたり、文の成分の順序や照応、組立てなどについて考えたりして話したり聞いたりしている。  単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意して話したり聞いたりしている。  共通語や方言の果たす役割などについて理解して話したり聞いたりするとともに、敬語についての理解を深め生活の中で適切に話したり聞いたりしている。

## (2)「書くこと」に関する内容のまとめ

	小学校 第1学年及び第2学年	小学校 第3学年及び第4学年	小学校 第5学年及び第6学年	中学校 第1学年	中学校 第2学年及び第3学年
国語への関心・意欲・態度	相手や目的を考えながら、事柄を集めたり簡単な組立てを考えたりして文章を書き、読み直そうとしている。	相手や目的に応じて、事柄の選択や段落相互の関係を工夫したり、よいところを見付けたりしようとしている。	目的や意図に応じて、書く必要のある事柄を整理したり、文章全体の組立てを工夫したりして、効果的に書こうとしている。	身近な生活から必要な材料を集めて、自分の考えをまとめようとして、進んで書き表そうとしている。	広い範囲から必要な材料を集め、立場や伝えたい事柄を明確にし、相手に効果的に伝わるように表現を工夫するとともに、書くことにより自らの生活を振り返って生活を豊かにしようとしている。
書く能力	相手や目的を考えながら、書いている。	相手や目的に応じて、適切に書いている。	目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に書いている。	身近な生活や学習の中から課題を見付けている。	広い範囲から課題を見付けている。
	書こうとする題材に必要な事柄を集めている。	書く必要のある事柄を収集したり選択したりしている。	全体を見通して、書く必要のある事柄を整理している。	課題に関する材料を集め、それを基にして自分の考えをまとめていく。	必要な材料を集め、それを基に自分のものの見方や考え方を深めている。
	自分の考えが明確になるように簡単な組立てを考えている。	自分の考えが明確になるように、段落相互の関係を考慮して書いている。	自分の考えを明確に表現するため、文章全体の組立ての効果を考えている。	伝えたい事実や事柄、課題、自分の考えや気持ちを明確にしている。	課題に対する自分の立場、伝えたい事実や事柄を明確にしている。
	事柄の順序を考えながら、語と語や文と文の続き方に注意して書いている。	書こうとする事の中心を明確にし、段落と段落との続き方に注意して書いている。	事象と感想、意見などを区別して書いている。目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりしている。	自分の考えや気持ちを的確に表すために、広い範囲から適切な材料を選んでいる。	文章の形態に応じて、書き出しや中心部分の展開など適切な構成を工夫している。
	文章を読み返す習慣を付け、間違いなどに注意している。	文章のよいところを見付けたり、間違いなどを正したりしている。	表現の効果などについて確かめたり工夫したりしている。	書いた文章を読み返して、読みやすく分かりやすい文章にしている。	自分の意見の基となる根拠を明らかにしている。
			互いの文章を読み、題材のとりえ方や材料の集め方などについて相互に学び合って、自分の表現の参考になっている。	文章の内容が相手に効果的に伝わるように論理の展開を工夫している。	
				自分の書いた文章を読み返し、文や文章を整えて、説得力のある文章を書いている。互いの文章を読み合い、論理の展開の仕方や材料の活用の仕方など様々な観点から相互に検討し、自分の表現に役立てている。	
言語についての知識・理解・技能	平仮名を正しく書いたり、片仮名で書く語を文や文章の中で正しく使ったりしている。	当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書いている。	当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書いている。	語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して書き、事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、語彙に関心をもちている。	慣用句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句の意味や用法に注意して書き、抽象的な概念などを表す多様な語句についての理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。
	第1学年に配当されている漢字を漸次書いている。(第1学年)	漢字のへん、つくりなどの構成についての知識をもっている。	送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。	文章の中の段落の役割や段落内の各文の接続関係などを考えて書いている。	相手や目的に応じて文章の形態や展開に違いがあることに気付いたり、文の成分の順序や照応、組立てなどを考えたりして書いている。
	第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書いている。(第2学年)	日常使われている簡単な単語について、ローマ字で書いている。(4年)	表現するために必要な語句について、辞書を利用して調べる習慣を付けている。	単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをする語句などに注意して書いている。	単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意して書いている。
	長音、拗音、促音、撥音の表記ができ、助詞の「は」「へ」「を」を文の中で正しく使っている。	送り仮名に注意して書いている。句読点を適切に打ち、必要な箇所は行を改めて書いている。	文や文章にはいろいろな構成があることについて理解し、活用している。	話し言葉とは違う書き言葉の特色や役割を理解し、適切に書いている。	共通語と方言の果たす役割などについて理解して書くとともに、敬語についての理解を深め生活の中で適切に使っている。
	句読点の打ち方やかぎ(「」)の使い方を理解して文章の中で使っている。	表現するために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる方法を理解している。	日常よく使われている敬語の使い方に慣れている。	【漢字】・小学校学年別漢字配当表に示された漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている【漢字】。	【漢字】小学校学年別漢字配当表に示された漢字のうち、第2学年では950字程度、第3学年ではその全てを書き、文や文章の中で使っている。
	文の中における主語と述語との関係に注意して書いている。	文章全体における段落の役割を理解している。	文字の形、大きさ、配列などを理解して、読みやすく書いている。	【書写】字形を整え、文字の大きさ、配列・配置に気を付けて書いている。	【書写】字形、文字の大きさ、配列・配置などに配慮して書いている。
	姿勢や用具の持ち方正しくして丁寧に書いている。	文と文との意味のつながりを考えながら、指示語や接続語を使っている。	毛筆を使用して、点画の筆使いや文字の組立て方を理解しながら、文字の形を整えて書いている。	【書写】漢字の楷書とそれに調和した仮名に注意して書き、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書いている。	【書写】目的や必要に応じて調和よく書き、漢字の楷書や行書とそれらに調和した仮名の書き方を理解して書くとともに、読みやすく速く書いている。
	点画の長短、接し方や交わり方などに注意して、筆順に従って文字を正しく書いている。	文章の敬体と常体に注意して書いている。	毛筆を使用して、字配りよく書いている。		
	文字の組立て方に注意して、文字の形を整えて書いている。 文字の大きさや配列に注意して書いている。 毛筆を使用して、点画の筆使いや文字の組立て方に注意しながら、文字の形を整えて書いている。				

### (3) 「読むこと」に関する内容のまとめ

	小学校 第1学年及び第2学年	小学校 第3学年及び第4学年	小学校 第5学年及び第6学年	中学校 第1学年	中学校 第2学年及び第3学年
国語への関心・意欲・態度	易しい読み物の内容の大体をとらえたり、自分なりに想像を膨らませたり、声に出したりしながら楽しんで読もうとしている	幅広くいろいろな読み物に興味をもち、一人一人の考えや感じ方の違いに気付いて読もうとしている	目的に応じた読書を通して、考えを広げたり深めたり、優れた叙述を味わったりするとともに、効果的な読み方を工夫しようとしている	学校図書館等を活用するなど、様々な種類の文章に応じた読み方をして内容を的確に理解しようとするとともに、進んで読書に親しみものの見方や考え方を広げようとしている	学校図書館等を積極的に活用するなど、様々な文章から目的や意図に応じて情報を集めようとするとともに、読書を生活に役立て自己を豊かにしようとしている
読む能力	自ら気に入った易しい読み物を読んでいる	いろいろな分野の読み物を、自ら進んで読んでいる	自分の考えを広げたり深めたりするために、主体的な立場で図書資料を選んで読んでいる。	文脈の中における語句の意味を正確にとらえ、理解している	文脈の中における語句の効果的な使い方について理解し、自分の言葉の使い方について役立てている。
	時間や事柄などの順序に着目し、内容の大体を読んでいる	自分の目的に応じて、段落相互の関係を押さえ、中心となる語や文をとらえて文章の内容を正しく読んでいる	目的や意図に応じて、文章の内容を短く要約したり伸ばしたりして、要旨をとらえて読んでいる。	書き手の考えの進め方や説明、説得の仕方など文章の展開に即して内容をとらえている	文章の論理の展開の仕方を的確にとらえ、内容を理解している
	場面や事柄のまとめなどについて、叙述に即して自分なりに想像を広げながら読んでいる	場面の变化や情景を表している叙述を基にして、想像しながら読んでいる	叙述に基づいて、登場人物の心情や性格、考え方などを多面的にとらえ、情景などの表現に着目して読んでいる	目的や必要に応じて要約している	文章の論理の展開の仕方を的確にとらえ、自分の表現に役立てている
	声に出して読んで、語や文としてのまとめや内容、響きなどについて感じたり考えたりしている。	文章を読んでまとめた自分の感じ方や考えと、他の人との感じ方や考えとは違いがあることに気付いている	事象と感想・意見の関係を押さえ、それらについての自分の考えを明らかにしている	文章の中心の部分と付加的な部分、事実と意見とを読み分けている	文章の構成や展開、説明や描写などの表現の仕方や、文体など文章の特徴に注意して読んでいる
		自分の目的や必要に応じて、大事な内容をまとめたり、必要となる細部に注意したりしながら読んでいる。 相手や目的に応じ、内容の中心や場面の様子がよく分かるように声に出して読んでいる。	自分に必要な情報を得るために学校図書館を利用するなどして、効果的な読み方をしている。	文章の構成や展開を正確にとらえ、内容の理解に役立てている。 文章の展開を確かめて、主題を考えたり要旨をとらえたりしている。 文章に表れているもの見方や考え方を理解し、自分のもの見方や考え方を広げている 様々な種類の文章から必要な情報を集めるための読み方を身に付けている。	文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもてるようになる。 目的をもって様々な文章を読み、必要な情報を集めている。 集めた情報を自分の表現に役立てている。
言語についての知識・理解・技能	はっきりした発音で読んでいる。	当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。	当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。	語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して読み、事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、語彙に関心をもちている	慣用句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句の意味や用法に注意して読み、抽象的な概念などを表す多様な語句についての理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。
	平仮名及び片仮名を正しく読んでいる。	地名や人名などの固有名詞を含めた日常目にする程度の簡単なローマ字を読んでいる。(4年)	仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。	文章の中の段落の役割や段落内の各文の接続関係などを考えて読んでいる。	相手や目的に応じて文章の形態や展開に違いがあることに気付いたり、文の成分の順序や照応などについて考えたりして読んでいる。
	当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。	語句が性質や役割の上で類別があることを理解している。	語句に関する類別や構成、変化などについて理解し、語句の由来などに関心をもちている。	単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意して読んでいる。	単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意して読んでいる。
	文の中における主語と述語との関係を理解している。	国語辞典や漢字辞典の使い方を知り、必要に応じて活用している。	理解したりするための語句について、辞書を利用して調べている。	話し言葉とは違う書き言葉の特色や役割を理解して読んでいる【漢字】。	共通語と方言の果たす役割などについて理解して読むとともに、敬語についての理解を深め文章中の敬語の使い方を理解している。
	言葉遣いに気を付けて読むとともに、敬体で書かれた文章などの文体を意識している。	文相互の関係や段落相互の関係を示す手がかりとしての指示語・接続語の役割を理解している。	語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもちている。	【漢字】小学校学年別漢字配当表に示された漢字に加え、その他の常用漢字のうち250字程度から300字程度までの漢字を読んでいる。	【漢字】第2学年では、第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から350字程度までの漢字を読み、第3学年では第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。
		易しい文語調の文章を音読し、文語の調子に親しんでいる。 文章にはいろいろな構成があることについて理解している。			

		小学校 第1学年	第2学年	3	4	5
<p>&lt;対象児童生徒の「国語への関心・意欲・態度」について&gt; 児童生徒の様子から、実態にはできていない場合、○、ない場合は×、部分がある場合は△、わからない場合は？を付けてください。</p>						
A話すこと	国語への関心・意欲・態度	Ae12-1-1 相手や目的を考えながら、事柄をまとめた文章をまとめるなど、話し合いの場を積極的に活用している。	Ae12-1-2 話し合いの場を積極的に活用している。	Ae12-1-3 話し合いの場を積極的に活用している。	Ae12-1-4 話し合いの場を積極的に活用している。	Ae12-1-5 話し合いの場を積極的に活用している。
B書くこと	国語への関心・意欲・態度	Be12-1-1 相手や目的を考えながら、事柄をまとめた文章をまとめるなど、話し合いの場を積極的に活用している。	Be12-1-2 話し合いの場を積極的に活用している。	Be12-1-3 話し合いの場を積極的に活用している。	Be12-1-4 話し合いの場を積極的に活用している。	Be12-1-5 話し合いの場を積極的に活用している。
C読むこと	国語への関心・意欲・態度	Ce12-1-1 話し合いの場を積極的に活用している。	Ce12-1-2 話し合いの場を積極的に活用している。	Ce12-1-3 話し合いの場を積極的に活用している。	Ce12-1-4 話し合いの場を積極的に活用している。	Ce12-1-5 話し合いの場を積極的に活用している。
<p>&lt;対象児童生徒の「話す・聞くこと」に関する能力について&gt; 児童生徒の様子から、該当する内、読むこと、読むことに関する能力は○、ない場合は×、部分がある場合は△、わからない場合は？を付けてください。</p>						
A話すこと	話す・聞く能力	Ae12-1-1 話し合いの場を積極的に活用している。	Ae12-1-2 話し合いの場を積極的に活用している。	Ae12-1-3 話し合いの場を積極的に活用している。	Ae12-1-4 話し合いの場を積極的に活用している。	Ae12-1-5 話し合いの場を積極的に活用している。
B書くこと	書く能力	Be12-1-1 相手や目的を考えながら、事柄をまとめた文章をまとめるなど、話し合いの場を積極的に活用している。	Be12-1-2 話し合いの場を積極的に活用している。	Be12-1-3 話し合いの場を積極的に活用している。	Be12-1-4 話し合いの場を積極的に活用している。	Be12-1-5 話し合いの場を積極的に活用している。
C読むこと	読む能力	Ce12-1-1 話し合いの場を積極的に活用している。	Ce12-1-2 話し合いの場を積極的に活用している。	Ce12-1-3 話し合いの場を積極的に活用している。	Ce12-1-4 話し合いの場を積極的に活用している。	Ce12-1-5 話し合いの場を積極的に活用している。
<p>&lt;対象児童生徒の「言語に関する知識・理解・技術」について&gt; 児童生徒の様子から、言語に関する知識・理解・技術がある場合は○、ない場合は×、部分的にある場合は△、わからない場合は？を付けてください。</p>						
A話すこと	言語に関する知識・理解・技術	Ae12-1-1 話し合いの場を積極的に活用している。	Ae12-1-2 話し合いの場を積極的に活用している。	Ae12-1-3 話し合いの場を積極的に活用している。	Ae12-1-4 話し合いの場を積極的に活用している。	Ae12-1-5 話し合いの場を積極的に活用している。
B書くこと	書く能力	Be12-1-1 相手や目的を考えながら、事柄をまとめた文章をまとめるなど、話し合いの場を積極的に活用している。	Be12-1-2 話し合いの場を積極的に活用している。	Be12-1-3 話し合いの場を積極的に活用している。	Be12-1-4 話し合いの場を積極的に活用している。	Be12-1-5 話し合いの場を積極的に活用している。
C読むこと	読む能力	Ce12-1-1 話し合いの場を積極的に活用している。	Ce12-1-2 話し合いの場を積極的に活用している。	Ce12-1-3 話し合いの場を積極的に活用している。	Ce12-1-4 話し合いの場を積極的に活用している。	Ce12-1-5 話し合いの場を積極的に活用している。

国立教育政策研究所  
作成の評価規準

国立教育政策研究所作成  
の評価規準を細分化

図1 小学校1・2年生の国語科学習評価シートの全体像

#### (4) 国語科学習評価シートの実例

前述したように、本研究においては一定の細分化ルールに基づき国語科評価シートを作成している(詳細は本研究の成果報告書を参照)。紙面の関係上、本稿では以下に小学校1・2年生の一部(「話すこと・聞くことに」)に関する関心・意欲・態度)を提示する。

例示の AaE12-1 は、国立教育政策研究所が作成した評価規準である。それを、AaE12-1-1 から AaE12-1-5 のように細分化し、太字の明朝体で書かれた部分について児童の習得状況を確認していく。なお、文中における一重線は条件、二重線は活動を示している。実際のシートや他の学年のシートについては資料として掲載する。

AaE12-1

相手に応じ、経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話したり、大事な事を落とさないように聞いたりするとともに、話題からそれないように話し合おうとしている。



AaE12-1-1

**相手に応じ**、経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話したり、大事な事を落とさないように聞いたりするとともに、話題からそれないように話し合おうとしている。

AaE12-1-2

相手に応じ、経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話したり、大事な事を落とさないように聞いたりするとともに、話題からそれないように話し合おうとしている。

AaE12-3

相手に応じ、経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話したり、大事な事を落とさないように聞いたりするとともに、話題からそれないように話し合おうとしている。

AaE12-1-4

**相手に応じ**、経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話したり、大事な事を落とさないように聞いたりするとともに、話題からそれないように話し合おうとしている。

AaE12-1-5

**相手に応じ**、経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話したり、大事な事を落とさないように聞いたりするとともに、話題からそれないように話し合おうとしている。